



APEC 女性と経済フォーラム2013

平成25年9月

内閣府男女共同参画局

1

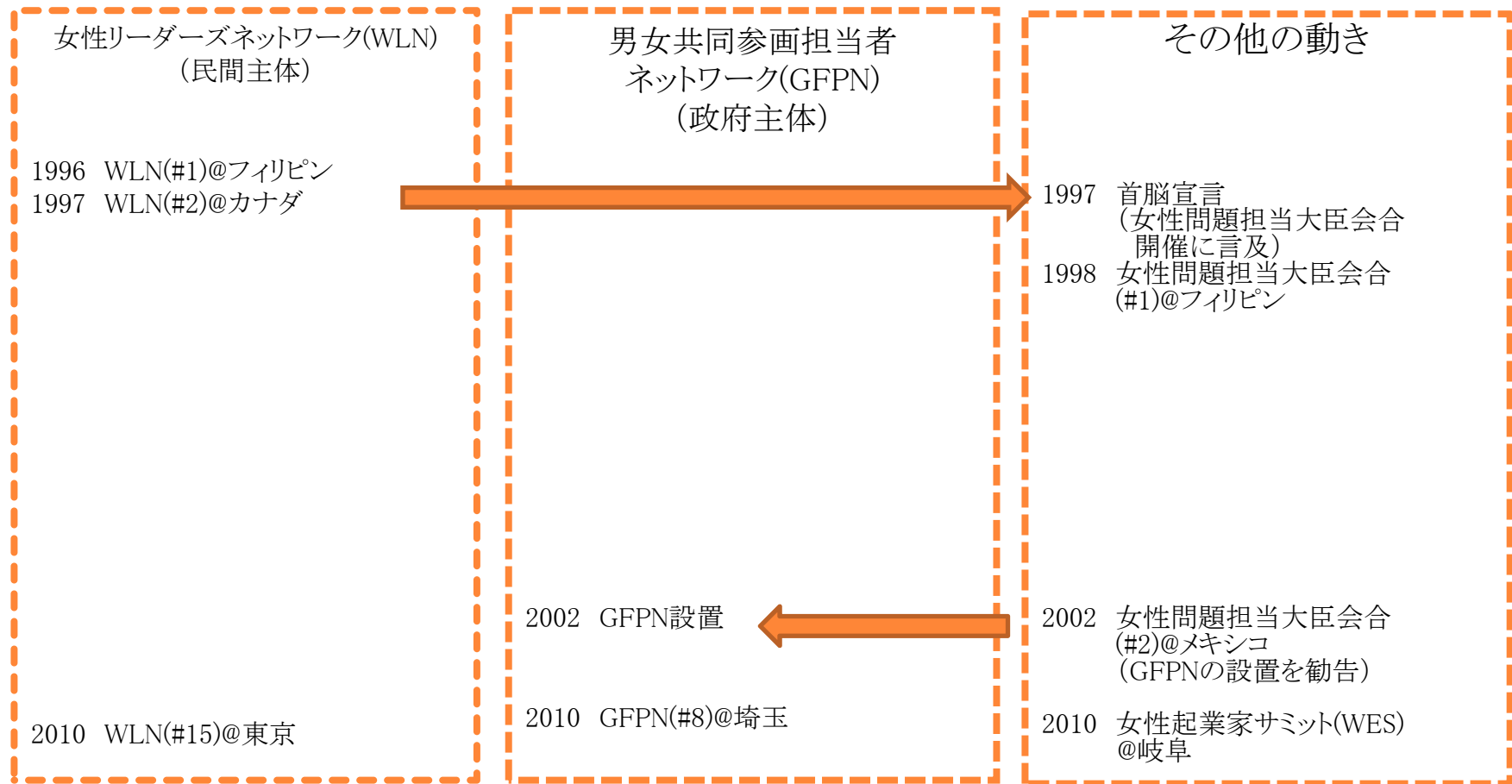
APECとは

- APEC (Asia-Pacific Economic Cooperation アジア太平洋経済協力) はアジア太平洋地域の21の国と地域が参加する経済協力の枠組み。経済規模で世界全体のGDPの約5割、世界全体の貿易量及び世界人口の約4割を占め、アジア太平洋地域の持続可能な成長と繁栄に向けて、貿易・投資の自由化、ビジネスの円滑化、人間の安全保障、経済・技術協力等の活動を行っている。
- (参加エコノミー)
 - オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、中国香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、ロシア、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、タイ、アメリカ、ベトナム

APEC女性と経済フォーラム2013

- APEC地域の経済発展のためには、女性の新たな経済機会の創出が不可欠であるとの認識の下、女性と経済に関する閣僚と民間参加者が一堂に会する会合であり、2011年から同様の形式で開催。
- 9月6日(金)から8日(日)まで、インドネシア・バリ島(ヌサ・ドゥア)で開催。(会場は、Westin Hotels and Resorts及びThe Mulia Resort and Villas)
- 「経済の推進役としての女性」をテーマとして、サブテーマに「構造改革」、「女性とICT」及び「インフラと人的資源」
- APEC域内の閣僚、民間企業の役員級、起業家など約800名が会議に参加、議論。

これまでの経緯



2011女性と経済サミット(WES)

2012女性と経済フォーラム(WEF)

2013女性と経済フォーラム(WEF)

女性と経済に関するハイレベル
政策対話

女性と経済に関する政策
パートナーシップ(PPWE)

+

中小企業大臣・女性と経済担当大臣合同会合

会合のテーマ「経済の推進役としての女性」

- (3つのサブテーマと課題)
 - 「構造改革」
 - 構造改革のための新たな戦略に関するデータ・指標の収集と調査・分析
 - 経済における女性の役割を促進する金融市場・労働市場政策
 - 脆弱な女性のための社会的セーフティネットプログラム
 - 「女性とICT」
 - 女性の活躍促進のためのICT手法
 - 女性中小企業家のマーケティング・ネットワーキングのためのICT
 - APEC域内の女性がICT手法を利用可能にするための戦略
 - 「インフラと人的資源」
 - 女性の活躍を促すソフト・ハード両面からのインフラの整備
 - 中小企業の持続可能な発展及び女性の活躍する機会の増加のための戦略の構築
 - 女性の競争力を高めるためのインフラの整備と能力の構築

APEC女性と経済フォーラム2013 プログラム



9月6日(金)午前
若手女性イノベーター表彰



9月8日(日)午前
女性と経済に関する
ハイレベル政策対話



9月7日(土)午後
女性と経済に関する
政策パートナーシップ
(PPWE)
Policy Partnership on
Women and the Economy



9月6日(金)
女性と経済に関する
官民対話(PPDWE)
Public-Private Dialogue
on Women and the
Economy



9月7日(土)午前
中小企業大臣・女性と経済
担当大臣合同会合

若手女性イノベーター表彰(9月6日)

- PPDWEのオープニングにおいて、各国から2名の若手女性イノベーターを表彰。
- 日本からは、下記のお二人が表彰されました。

清藤 美里さん(パナソニック株式会社アプライアンス社ビューティ・リビング
事業部商品企画グループビューティー商品企画チーム参事)

ーPanasonic Beautyライン製品の開発を通じ、新たな市場を開発

鮫島 弘子さん(andu amet(アントゥアメット) 代表取締役・デザイナー)

ー世界最高峰の羊皮エチオピアンシープスキンを贅沢に使用したエシカル×
リュクスなレザー製品を製造・販売

表彰の対象は……

- ・ 18から40歳までの先導的な若い女性イノベーターであること。
- ・ 成功した技術者、起業家、イノベーターで、そのイノベーションが、各国における他の女性の経済参画への機会を広げたもの。



清藤さん(一番左)と鮫島さん(左から二番目)

女性と経済に関する官民対話(PPDWE)(9月6日)

Public-Private Dialogue on Women and the Economy

官、民、非政府組織、学識などから女性リーダー等が参加し、“経済の推進役としての女性”をテーマに、活発な議論が行われた。

- ハイレベルパネルにおいて、林文子横浜市長が、横浜の待機児童解消の取組などを中心にスピーチ。
- 3つのサブテーマ「構造改革」「女性とICT」「インフラと人的資源」ごとに9つのパネルディスカッションが行われ、日本から4名の女性がモデレーターやスピーカーとして議論に参加(詳細は次頁)。



リンダ・グムラール インドネシア女性エンパワーメント・児童保護担当大臣による開会挨拶



林 文子横浜市長による基調講演

～PPDWE パネルディスカッションの様子～



(構造改革:「脆弱な女性のための社会的
セーフティネットプログラム」)
石戸奈々子 NPO CANVAS 理事長
(スピーカー)



(女性とICT:「女性の活躍促進のためのICT手法」)
塚本 良江 NTTコムオンラインソリューション
株式会社代表取締役社長
(スピーカー)



(インフラと人的資源:「女性の競争力を高めるためのインフラの整備と能力の構築」)
笠 章子 大塚製薬(株)常務執行役員広報部長(モデレーター)ー写真右
佐々木 美弥子 ユニチャーム株式会社グローバル人事総務本部海外グループシニアマネージャー
(スピーカー)ー写真左

中小企業大臣・女性と経済担当大臣合同会合(9月7日)

中小企業の発展における女性の経済参画の重要性に着目し、初めて開催され、「起業文化の推進」及び「金融へのアクセスの増大」を議題として、議論が行われた。

- 日本からは森内閣府特命担当大臣(男女共同参画)と佐藤ゆかり経済産業省大臣政務官が出席。
- 議論の結果は、APEC地域内の女性における中小企業の強化のための協力の促進、女性による中小企業の強化のための行動等を内容とした「宣言」として取りまとめられた。



各エコノミーの代表



森大臣のスピーチの様子

女性と経済に関する政策パートナーシップ (PPWE) (9月7日)

Policy Partnership on Women and the Economy

各エコノミーから官（実務者級）、民（役員級）が参加し、関連イベントや取組についての報告、ハイレベル政策対話に諮る声明案について議論などが行われた。

- 日本からは、塚本良江さん、笠章子さん、別府充彦内閣府大臣官房審議官、坂本敏幸経済産業省通商交渉官が参加。
- 別府審議官から、「見える化」の取組を中心とした日本の女性活躍推進の取組について、坂本交渉官からは、9月3日にバリ島で行われた日本提案のプロジェクト「女性の一村一品 (OVOP) セミナー」についての報告を行った。
- ハイレベル政策対話に諮る声明案に関して、米国やインドネシアとともに「インフラと人的資源」の部分の修正案を調整。塚本さんや笠さんにも夜遅くまで続く議論に熱心にご参加いただき、「見える化」の取組を含むPPWEとしての声明案が取りまとめられた。



PPWEの会合の様子



米国、インドネシアとともに声明案について議論

女性と経済に関するハイレベル政策対話(9月8日)

各エコノミーから官(閣僚級)、民(役員級)が参加し、APECとして女性の経済参加を促進するための具体的な行動に関する「声明」(政策提言)が合意された。

- 日本からは、森大臣、塚本良江さん、笠章子さんが出席。
- 森大臣からは「日本再興戦略」を中心とした我が国の女性の活躍推進の取組、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」などについてスピーチ。
- これらの会合の結果として、我が国が進める女性の活躍を推進する企業の活動の「見える化」等の施策を促進していくことなどが、「声明」として合意された。
- この「声明」は、10月に開催されるAPEC首脳会合に反映される予定。



ハイレベル政策対話



森大臣によるスピーチの様子